

第3学年 国語科 年間指導計画

担当	川里尚子	教科 目標	国語を適切に正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
教科書 副教材、用具	光村図書「国語3年」、つまずかない！古典の学習（新学社）よくわかる国語の学習（明治書店）単元別漢字3（秀学社）つまずかない！文法の学習（新学社）新国語の便覧（新学社）模擬トレ5（正進社）国語辞典、漢和辞典、習字道具		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4月	世界はうつくし いと	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・詩を通読する。 ・詩を読み深める。 ・詩の特徴を生かして朗読する。	＜知識・技能＞ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。（ワークシート） ＜主体的に取り組む態度＞ 進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。（音読）
	握手	○文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。 ・作品を通読し、設定を捉える。 ・登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の心情を読み取る。 ・読み深めた感想を交流する。	＜知識・技能＞ 時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。（ノート・観察） ＜思考・判断・表現＞ 「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。（ノート）
	評価しながら聞く	○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ペットに関する討論会の一部を聞き、メモを取る。 ・評価しながら聞く練習をする。	＜知識・技能＞ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。（聞き取りメモ） ＜思考・判断・表現＞ 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。（聞き取りメモ）
	学びて時に之を 習ふ ——「論語」から	○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・「論語」という作品について知る。 ・「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 ・日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。	＜知識・技能＞ 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。（ノート・観察） ＜思考・判断・表現＞ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。（ノート・発表） ＜主体的に取り組む態度＞ 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を

5 月	情報整理のレッスン 情報の信頼性 作られた「物語」を超えて	・「論語」の中から、自分たちの生活に生かしていきたい言葉を選び、伝え合う。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・P32 下段の問題について、グループで考えた後、教材文を通読する。 ・さまざまなメディアが伝える情報はすべて編集されていることを理解し、信頼性の確かめ方について確認する。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・全文を通読し、筆者の問題意識（話題）を捉える。 ・筆者の主張と論理の展開を捉える。 ・筆者の主張と論理の展開を評価する。	生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。（観察・交流） <知識・技能> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。（ワークシート） <主体的に取り組む態度> 学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。（観察）
6 月	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける 資料 リオの伝説のスピーチ 実用的な文章を読もう 報道文を比較し	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・P50 の教材文を通読し、具体と抽象の関係で捉えられるものや、具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解する。 ・P51 の教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。 ○目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ・話題を決めて、情報を集める。 ・話の構成を考える。 ・スピーチの会を開く。	<知識・技能> ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。（ノート） <思考・判断・表現> 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。（ノート・発表） <主体的に取り組む態度> 進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。（ノート・観察） <知識・技能> 具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。（ノート） <主体的に取り組む態度> 具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。（観察） <知識・技能> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。（スピーチ） <思考・判断・表現> 話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいく。（スピーチ原稿） <主体的に取り組む態度> 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。（スピーチ・観察）

7月	て読もう 俳句の可能性 俳句を味わう 俳句を作って楽しもう	○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ・社会生活の中で触れたことのある実用的な文章を挙げる。 ・子供用のパンフレットに見られる工夫を発表する。 ・傍線部について、小学校3年生のみどりさんにわかるように説明する。 ・木村さん役と家族役に分かれ、傍線を引いた情報について交代で説明する。 ・P64～67の報道文 A・B を通読し、P68「やってみよう」に取り組む。 ○表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 ・情景を想像しながら、それぞれの俳句を朗読する。 ・本文を読み、俳句についてまとめる。 ・P75「俳句を作って楽しもう」に取り組む。	<知識・技能> 実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。 (観察・ワークシート) <思考・判断・表現> 事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。 (ワークシート) <主体的に取り組む態度> 積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。(ワークシート・観察)
9月	読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？ 挨拶 ——原爆の写真によせて	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 ・教科書本文を通読し、本のさまざまな探し方について知る。 ・学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味がもてそうな本を探す。 ・見つけた本を夏休みに読み、書評やポップを書く。 ○詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ・作品を通読し、当時の時代背景に	<知識・技能> 俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。(作品・ワークシート) <思考・判断・表現> 自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。(作品・ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。(観察・ワークシート) <知識・技能> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。(観察・作品) <知識・技能> 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の

9 月	故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る [推敲]論理の展開を整える	ついて確認する。 ・「顔」という表現を捉える。 ・表現の効果を評価する。 ・作者は、この詩の中で、どのようなことを考え、伝えようとしたのか、現代社会の状況と重ね合わせながら、自分の意見を述べる。 ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・作品を通読し、作品の設定を捉える。 ・場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 ・読み深めたことを踏まえ、作品のもつ特性や価値について批評する。 ○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 1 対談の準備をする。 2 対談を行う。	中での意味を考えている。(ノート) <思考・判断・表現> 詩に用いられている比喻や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。(ノート・発表) <主体的に取り組む態度> 詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。(観察・発表・ノート) <知識・技能> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(ノート) <思考・判断・表現> 「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。(ノート・発表) <主体的に取り組む態度> 粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。(ノート) <知識・技能> 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(ワークシート・発表) <思考・判断・表現> 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。(ワークシート・発表) <知識・技能> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 目的や意図に応じた表現になっている
10 月	人工知能との未来	○目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 1 P116 上段の文章を通読し、下段の課題に取り組む。 ・P116 下段「上達のポイント」を参考にする。 2 学習を振り返る。 ・どのような点を意識して、意見文	

11月	人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く [議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 君待つと	を推敲したか。 ○論説の文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 ・文章の要旨を捉える。 ・文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げる。 ・自分の考えを文章にまとめる。 ○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ・批評文について知り、題材を選ぶ。 ・観点を決めて分析する。 ・構成を考える。 ・推敲して仕上げる。 ○進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 ・合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める。 ・グループで具体的な提案を考える。 ・全体会議を開く ○詩の構成や展開、表現のしかたについて評価することができる。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。 ・語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	かを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。(観察・ワークシート) <知識・技能> 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討している。(ノート・観察) <思考・判断・表現> 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。(観察・ノート) <思考・判断・表現> 自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。(作文) <主体的に取り組む態度> 粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。(観察・作文) <知識・技能> 複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。(話し合い) <思考・判断・表現> 進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(話し合い) <主体的に取り組む態度> 合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。(観察) <知識・技能> 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。(音読) <思考・判断・表現> 文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べた
-----	--	---	--

	——万葉・古今・新古今 夏草 ——「おくのほそ道」から 〔書く〕古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・「和歌の世界」を読む。 ・「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。 ・和歌を声に出して読む。 ・和歌の世界を味わう。 ・心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ・作品を朗読する。 ・芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 ・心に響く俳句について発表する。 ・古典の言葉を引用し、メッセージを贈る。 ・文章を友達と読み合い、学習を振り返る。 ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・筆者の考えを確認しながら全文を通読する。 ・筆者の考え方について話し合う。 ・自分の考えをまとめる。 ・社会や人間に対する筆者の考えと自分の考えを比較し、共通点と相違点を述べる。 ○論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 ・グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。 ・構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合う。 ・資料から読み取ったことを基に、説得力のある論理展開を実現できる	りしようとしている。(音読・発表) ＜知識・技能＞ 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(ワークシート) ＜思考・判断・表現＞ 心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。(ノート) ＜主体的に取り組む態度＞ 進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。(観察・ワークシート) ＜知識・技能＞ 古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。(ワークシート) ＜思考・判断・表現＞ 自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。(ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。(観察・ワークシート) ＜思考・判断・表現＞ 文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。(ノート) ＜主体的に取り組む態度＞ 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。(観察・ノート) ＜知識・技能＞ 具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。(作文) ＜思考・判断・表現＞ 資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。(交流・作文) ＜主体的に取り組む態度＞
12月	誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く		
1月	温かいスープ		

2月	わたしを束ねないで 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	よう、助言を踏まえてどこをどのように推敲したか。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 ・筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 ・国際性について自分の考えをもつ。 ・筆者の考える「国際性」の基本とは何かを捉え、それについて自分の考えをもつ。 ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 ・作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。 ○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ・三年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決める。 ・冊子の構成を考える。 ・冊子を作る。 ・発表会を開く。 ・三年間の学習を振り返り、友達と作品を読み合ったり、発表を聞き合ったりする中で、自分の考えを深める。	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。(観察・作文) <知識・技能> 文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。(ノート・交流) <思考・判断・表現> 自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。(ノート・交流) <知識・技能> 言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。(音読) <思考・判断・表現> 詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。(ワークシート) <知識・技能> 目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。(作品) <主体的に取り組む態度> 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。(交流・ワークシート)
3月	学習を振り返ろう		

		○表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 1 P225 の小説を読み，学習課題に取り組む。 2 P228 の説明文を読み，学習課題に取り組む。 3 P229 のスピーチ原稿を読み，学習課題に取り組む。 4 P230 の図表を用いて，学習課題に取り組む。	<知識・技能> 目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。(発表) <思考・判断・表現> 本文から根拠となる部分を挙げて，客観的に自分の考えを書いている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く文章や資料を読み取り，今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。(観察・ワークシート)
--	--	---	---

第3学年 国語科書写 年間指導計画

1 学期	硬筆	正しい筆使いを確かめる。 漢字と平仮名を調和させる。 掲示物をつくる。	整った字を正しく書くことができたか。 漢字と平仮名が調和していたか。
2 学期	毛筆		
3 学期	毛筆と硬筆	行書の書き方を理解する。 手紙を書く。	整った字を書くことができたか。

※その他年間を通して作品作りをおこなう。

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期考査 ・ 漢字テスト ・ 小テスト ・ 聞き取りテスト ・ 話し合い活動 ・ 発表 ・ 作文 ・ 授業やワークシート等への取り組み状況 ・ 書写（硬筆、毛筆）	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 聞き取りテスト ・ 話し合い活動 ・ 発表 ・ 作文 ・ 作品 ・ 授業やワークシート等への取り組み状況	・ 授業や提出物、ノート、ワークシート等、粘り強く取り組む様子を評価する。 ・ 話し合い活動や発表、暗唱などに粘り強く取り組む様子を評価する。 ・ 定期考査における解答から、粘り強く答えようとしている様子を評価する。
比率	1／3	1／3	1／3

学習のアドバイス

- ・ 一時間一時間の授業を大切にしましょう。
- ・ 授業の内容をノートにまとめて書きましょう。（必要に応じてメモをとる力を付けましょう。）
- ・ 定期的な漢字のテストにしっかり取り組みましょう。
- ・ 教科書と副教材（漢字の完全マスター・国語の学習 3・資料集・文法の学習・プリント類など）を忘れないようにしましょう。
- ・ 授業ではよく聞き、よく考え、積極的に発言をし、分からないことは質問しましょう。
- ・ グループでの話し合い活動に積極的に取り組み、学習を深めましょう。
- ・ 自分の考えや意見がよく相手に伝わるように工夫して発表する力を身に付けましょう。
- ・ ワークやワークシートなど、提出物はきちんとやって提出しましょう。これらは大切な自分の記録になります。丁寧に書き、あとから読んで学んだことがわかるものを作りましょう。
- ・ 意味のわからない語句はまめに辞書をひいて、覚えましょう。
- ・ さまざまな分野の本を読み、自分の世界を広げ、深めていきましょう。

第3学年 社会科 年間指導計画

担当	木下 田上	教科 目標	三年間のまとめとして、現代社会を多面的・多角的に学ぶ活動を通して、持続可能な社会を視野に入れ、社会のさまざまな課題を主体的に追求し、国際社会で平和で民主的な社会を形成する公民としての資質・能力を育成する。	
教科書 副教材、用具		帝国書院 歴史教科書 公民教科書		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
通年	歴史 近現代の 歴史	近現代の歴史を学び、公民学習の基礎をつくる。 ア 開国と近代日本 イ 二度の世界大戦と日本 ウ 現代の日本と私たち	＜知識・技能＞ 近現代の歴史の流れを身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞人権や経済に着目し近現代の歴史を考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜主体的に取り組む態度＞ 近現代の歴史がのこした課題を主体的に追及しようとしている。（ノート・提出課題）	
4月 5月	公民 現代社会 と私たち	伝統社会と比べた現代社会の特色や変化・課題を学ぶ。 ア 現代社会の特色と私たち イ 私たちの生活と文化 ウ 現代社会の見方や考え方	＜知識・技能＞ 現代社会の特色や変化・課題を身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞ 現代社会の特色を、伝統社会と比較して考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜主体的に取り組む態度＞ 現代社会の課題を主体的に追及しようとしている。（ノート・提出課題）	
6月 7月	公民 個人の尊重 と日本国憲法	人間の尊重を、人権を中心に考え、憲法と法の意義を理解する。 ア 人権と日本国憲法 イ 人権と共生社会 ウ これからの人権保障	＜知識・技能＞ 憲法や法を人権の視点から身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞ 憲法・法・人権を、人間の尊重の観点から考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜主体的に取り組む態度＞ 憲法・法・人権の課題を主体的に追求しようとしている。（ノート・提出課題）	
9月 10月	公民 現代の民主政治 と社会	国の民主政治のしくみと三権、地方自治体の役割を学ぶ。 ア 現代の民主政治 イ 国の政治のしくみ ウ 地方自治と私たち	＜知識・技能＞ わが国の民主政治のしくみを身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞ わが国の民主政治のしくみを国民の政	

11月 12月 1月	公民 私たちの暮らしと経済	私たちの生活の背景にある経済のしくみを理解し、消費者や労働者としての権利を学ぶ。 ア 消費生活と市場経済 イ 生産と労働 ウ 市場経済のしくみと金融 エ 財政と国民の福祉 オ これからの経済と社会	治参加の視点から考えている。(小テスト・定期テスト・提出課題) ＜主体的に取り組む態度＞ わが国の民主政治の問題点や課題を主体的に追求しようとしている。(提出課題・ノート) ＜知識・技能＞ 経済のしくみを生活に結びつけて身に付けている。(小テスト・定期テスト・提出課題) ＜思考・判断・表現＞ 経済のしくみを消費者や労働者の権利の視点から考えている。(小テスト・定期テスト・提出課題) ＜主体的に取り組む態度＞ 経済のもたらす問題点や課題を主体的に追求しようとしている。(提出課題・ノート)
2月 3月	公民 地球社会と私たち	世界平和と人類の福祉の視点から、国際協力のしくみと地球的な課題を学ぶ。 ア 国際社会のしくみ イ さまざまな国際問題 ウ これからの地球社会と日本	＜知識・技能＞ 国際協力のしくみと地球的な課題を身に付けている。(小テスト・定期テスト・提出課題) ＜思考・判断・表現＞ 国際社会におけるわが国の課題を考えている。(小テスト・定期テスト・提出課題) ＜主体的に取り組む態度＞ 国際社会の問題点や課題を主体的に追求しようとしている。(提出課題・ノート)

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	定期テスト 授業への取り組み (発言・提出課題・ノート) 長期休業中の提出課題	定期テスト 授業への取り組み (発言・提出課題・ノート) 長期休業中の提出課題	授業への取り組み (発言・提出課題・ノート) 長期休業中の提出課題
比率	1／3	1／3	1／3

学習のアドバイス

◎授業：毎時の授業を大切に、集中して説明を聞きましょう。自分から楽しく積極的に発言や作業をしましょう！ ◎ワークシート：「自分の考えを、自分の言葉で説明することができる」をテーマに、楽しく話し合い活動に参加してください！ ◎ノート：板書は、きちんと写しましょう。先生の話した内容を書き留めるなど、自分のオリジナルノートを作りましょう！ ◎課題：様々な資料を使って、丁寧に課題に取り組みましょう。提出期限（日時）は、必ず厳守です！ ◎定期テスト：評価の観点に応じた問題を出題します。教科書・ノートなどから出題し、時事問題も出題します。普段から、ワーク等で問題を解いておくとういでしょう。また、ニュースなどをチェックし、社会の出来事に関心を持ちましょう！
--

第 3 学年 数学 科 年間指導計画

担当	藤間 野崎	教科 目標	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育むとともに、数学の良さを知り、数学と実社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりする。	
教科書 副教材、用具		「新しい数学3」（東京書籍）、 三角定規、コンパス、分度器、電卓		
数学Ⅰ 藤間担当分				
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	1章 文字式を使 って説明しよう [多項式] 19時間	① 単項式・多項式の乗除の 計算をすること。	<知識・技能> ・単項式と多項式の乗除の計算をすることが出 来る。（定期考査・小テスト）	
5		② 一次式の乗法および乗法 公式を用いて展開・因数 分解をすること。	<思考・判断・表現> 文字を用いた式を活用して数量および数量の 関係をとらえ説明する方法について考えてい る。（定期考査・小テスト）	
6		③ すでに学習した計算の方 法と関連付けて、式の展 開や因数分解する方法を 考察し表現すること。	<主体的に取り組む態度> 式の展開や因数分解を活用した問題解決の過 程を振り返って検討しようとしている。（ノー ト・ワーク）	
7	2章 数の世界を さらにひろげよ う [平方根] 16時間	① 数の平方根の必要性和意 味を理解し、簡単な式の 計算をすること。	<知識・技能> ・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をするこ とができる。（定期考査・小テスト）	
9		② 数の平方根を含む式の計 算方法を考察・表現し、具 体的な場面で活用するこ と。	<思考・判断・表現> ・これまでに学んだ文字式の計算などと関連付 けて平方根をふくむ式の計算方法を考えてい る。（定期考査・小テスト） <主体的に取り組む態度> ・数の平方根について学んだことを生活や学習 に生かそうとしている（ノート・ワーク）	
10	3章 方程式を利用 して問題を解 決しよう [2次方程式] 15時間	① 因数分解したり平方の形 に変形したり解の公式を 用いたりして二次方程式 を解く。 ② 因数分解や平方根の考え を基にして二次方程式を 解く方法を考察し、表現 する。	<知識・技能> ・因数分解したり平方の形に変形したり解の公 式を用いたりして二次方程式を解くことが出 来る。（定期考査・小テスト） <思考・判断・表現> ・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、 解が適切であるかどうかを考えている。（定期 考査・小テスト） <主体的に取り組む態度> ・2次方程式の必要性和意味を考えようとして いる。（ノート・ワーク）	

	4 章 関数の世界 をひろげよう [関数 $y = ax^2$] 17 時間	① 事象の中には $y = ax^2$ としてとらえられるものがあることを知り、関数関係があることを理解すること。 ② 関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について変化や対応の特徴を見出し、表・式・グラフを相互に関連付けて考察し、表現する。	＜知識・技能＞ 関数 $y = ax^2$ を表・式・グラフを用いて表現したり処理したりすることが出来る。(定期考査・小テスト) ＜思考・判断・表現＞ 関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象について考えている。(定期考査・小テスト) ＜主体的に取り組む態度＞ 関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート・ワーク)
11			
12	5 章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形] 23 時間	① 基本的な立体の相似の意味および相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。 ② 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめ、具体的な場面で活用すること。	＜知識・技能＞ ・平面図形の相似の意味および相似条件に付いて理解し、相似比や面積比、体積比の関係について理解している。(定期考査・小テスト) ＜思考・判断・表現＞ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に考えている。(定期考査・小テスト) ＜主体的に取り組む態度＞ 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。(ノート・ワーク)
1			
2	3 年間の総復習 問題演習	1 年次から 3 年次までの実践的な問題演習を実施し、実力を高める。	
3	15 時間		

数学Ⅱ 野崎担当分			
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4 5	8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査] 6時間	① 標本調査の必要性和意味を理解しコンピュータなどの情報手段を用いることで無作為に標本を取り出し、整理する。 ② 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。 ③ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し、判断すること。	<知識・技能> コンピュータなどの情報手段を用いて無作為に標本を取り出し、整理することが出来る。(ノート・小テスト) <思考・判断・表現> 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現する方法を考える。(ノート・小テスト) <主体的に取り組む態度> 標本調査の必要性和意味を考えようとしている。(ノート・ワーク)
6 7 9	6章 円の性質を見つけて証明しよう [円] 10時間	① 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。 ② 円周角と中心角の関係を見出し、具体的な場面で活用すること。	<知識・技能> 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。(定期考査・小テスト) <思考・判断・表現> 円周角と中心角の関係を見出し、具体的な場面での活用法を考えている。(定期考査・小テスト) <主体的に取り組む態度> 円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート・ワーク)
10 11 12	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理] 13時間	① 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。 ② 三平方の意味を見出し、具体的な場面で活用すること。	<知識・技能> 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることが出来る。(定期考査・小テスト) <思考・判断・表現> 三平方の定理を見出し、が騒的な場面での活用法を考えている。(定期考査・小テスト) <主体的に取り組む態度> 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート・ワーク)
1 2 3	3年間の総復習 問題演習 6時間	1年次から3年次までの実践的な問題演習を実施し、実力を高める。	

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期考査 ・ 小テスト 等	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 課題への取り組み方 等	・ 授業中の取り組み ・ ワーク、ノート、課題などの取り組み ・ 自己評価・ふりかえり・まとめ 等
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

☆ 一番大事なのは授業中の集中と理解です。次に、分からないことをそのままにしないで友達や先生にたくさん質問することです。「継続は力なり」なので、授業のあった日は必ず復習して、教科書、ワーク、プリントなど教材を使って、根気よく、粘り強く取り組んでください。地道にコツコツ頑張る人が必ず力を伸ばします。

☆ 定期考査の得点を気にすることは当然ですが、授業で理解したことを確認するのがテストであり、また普段の授業も成績に入っていることを忘れずに。

☆ 定期考査では、授業でどれだけ話を聞いて頑張っているかが分かるような問題を出題します。また、授業で学んだことを利用して考える問題では、相手に伝わるように記述できるようにしていきましょう。

【評価】主体的に学習に取り組む態度は次のポイントを押さえます。

・ ワークは自分の力で頑張って仕上げましょう。答え合わせをして間違いがあればきちんと直しましょう。なぜ間違えてしまったのか、正しく解くためにはどうすればよいかを書いておきましょう。分からなかった問題はそのままにせず、解説などを参考に理解する努力をしましょう。

・ ノートは「気付いたこと」や「先生のアドバイス」もメモしておくと後で役立ちます。問題を解くときは、答えのみではなく途中式もきちんと書くようにしましょう。また、自分なりに授業や単元のまとめができるかを確認めます。

第3学年 理科 年間指導計画

担当	藤井 人見 本橋	教科 目標	(1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
教科書 副教材、用具		新しい科学（東京書籍） 理科の完全学習（正進社）、模擬トレ5（正進社）、フラットファイル	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4 5 6	運動とエネルギー	・物体の運動 ・力のはたらき方 ・エネルギーと仕事	<知識・技能> 運動とエネルギーに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（ワークシート、小テスト、定期考査等） <思考・判断・表現> 運動とエネルギーに関わる現象についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（ワークシート、小テスト、ノート、定期考査等） <主体的に取り組む態度> 運動とエネルギーに関わる現象の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（ワークシート、ノート等）
7 9 10	化学変化とイオン	・水溶液とイオン ・酸、アルカリとイオン ・化学変化と電池	<知識・技能> 化学変化におけるイオンに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（ワークシート、小テスト、定期考査等） <思考・判断・表現> 化学変化におけるイオンについての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（ワークシート、小テスト、ノート、定期考査等） <主体的に取り組む態度> 化学変化におけるイオンの観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（ワークシート、ノート等）
11 12 1	生命の連続性	・生物の成長と生殖 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の多様性と進化	<知識・技能> 生物の成長と進化に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（ワークシート、小テスト、定期考査） <思考・判断・表現> 生物の成長と進化の観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（ワークシート、小テスト、ノート、定期考査等） <主体的に取り組む態度> 生物の成長と進化の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（ワークシート、ノート等）
4 5 6 7 9 10 11 12 1	地球と宇宙	・地球の運動と天体の動き ・月と金星の見え方 ・宇宙の広がり	<知識・技能> 天体の動きに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（ワークシート、小テスト、定期考査等） <思考・判断・表現> 天体の動きの観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（ワークシート、小テスト、ノート、定期考査等） <主体的に取り組む態度> 天体の動きの観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（ワークシート、ノート等）

1 2 3	地球と私たちの未来のために	・自然のなかの生物 ・自然環境の調査と保全 ・科学技術と人間 ・持続可能な社会をつくるために	<知識・技能> 自然環境や科学技術に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (ワークシート、小テスト、定期考査等) <思考・判断・表現> 自然環境や科学技術についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (ワークシート、小テスト、ノート、定期考査等) <主体的に取り組む態度> 自然環境や科学技術の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (ワークシート、ノート等)
-------------	---------------	---	---

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・実験・観察・実習の取り組みの様子 ・ワークシートの記入状況 ・授業の取り組みの様子 ・定期考査 ・ワークシート、プリント ・小テスト	・定期考査 ・ワークシートの記入状況 ・実験プリントの考察への取り組みの様子 ・ノートの思考課題への取り組みの様子 ・小テスト	・授業の取り組みの様子 ・授業中の発言 ・ノートの記入状況 ・ワークシートの記入状況 ・ワークの記入状況
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・理科の授業で重要なことは、「考えること」です。日常生活の中で「なんでだろう」と思うことや、与えられた思考課題について自分の頭で考えることを習慣づけましょう。そして、他の人の意見を聞きながら自分の意見を再構築していく経験を重ねることで、科学的な思考力はどんどんこうじょうしていくはずです。
- ・観察、実験、実習には主体的に取り組みましょう。自分の手を動かすことで、理解度も上がり、しっかりと記憶に刻まれます。
- ・理科では予習よりも復習が大切だと考えています。その日に学習した内容を、その日のうちに自宅でノートやプリントを使いながら必ず復習をしましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は必ず期限を守って提出しましょう。
- ・定期考査に向けてしっかりと準備をしておきましょう。一番ははじめに行うべきは、授業内容の理解です。ノートやプリントを使ってまず復習をしましょう。また、重要語句は漢字で書けるようにしておきましょう。問題を繰り返し解いてみることも大切です。自分が本当に理解しているかを確認、疑問やわからないところがあったら、自分で調べたり質問したりして解決しましょう。
- ・忘れものをしないように気を付けましょう。忘れものをすると十分に学習に取り組むことができません。
- ・ノート、プリントはていねいにきちんと書くようにしましょう。また、欠席などで受けられなかった授業の内容は忘れずに早めに補充をしておきましょう。

第3学年 音楽科 年間指導計画

担当	柏倉かほる	教科 目標	音楽の学習や活動を通して、生活を明るく豊かなものにし、音楽を愛好する心を養う。
教科書 副教材、用具		中学生の音楽3（教育芸術社） 音楽のおくりもの中学器楽（教育出版） コーラスフレンズ（教育芸術社）、アルトリコーダー、箏	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	花	- 歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、表現を工夫して重唱する。 - 日本語の美しい響きを大切にしながら、発音に気を付けて歌う。 - 中世後期からルネサンスの音楽史の流れを理解する。	「花」…音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→実技テスト 「花」ワークシート【思考・判断・表現】【学習に向かう態度】
5	西洋音楽史 MyVoice 花の街	- 豊かな歌声で、気持ちを込めて歌う。 - 詩にこめられた思いが、旋律や強弱にどのように生かされているかを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。	- 西洋音楽史【知識】→定期考査 「花の街」ワークシート【学習に向かう態度】
6	西洋音楽史 （鑑賞1） 大地讃頌 or	- バロックの音楽の特徴を理解する。 - 和声進行の美しさを感じ取る。	
7	ジュリコの戦い （混声四部合唱） アルトリコーダーアンサンブル 威風堂々	- パートの役割を理解し、正しい音程で歌う。 - 混声四部の重厚な響きを、豊かな発声で作上げる。 - 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、サミングや息のコントロールなどの技能を身につけて、表現を工夫する。	- アルトリコーダー…重奏チェック【技能】 - 鑑賞のシート【思考・判断・表現】 - 歌唱のワークシート【学習に向かう態度】
9	帰れソレントへ	- 短調と長調の違いを感じ取り、速度や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 - ナポリの情熱的な音楽を感受する。 - 古典派の音楽の特徴について理解を深める。 - 形式美を重視した音楽を感じ取る。	- 西洋音楽史【知識】→定期考査 - 混声四部合唱曲「ジュリコの戦い」or「大地讃頌」…音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→実技テスト、審査 - 西洋音楽史【知識】→定期考査 - 鑑賞のシート【思考・判断・表現】 - 歌唱シート【学習に向かう態度】
10	西洋音楽史 （鑑賞2） 合唱コンクールの自由曲 （混声三～四部合唱）	- パートの役割を理解し、詞の内容を考えながら正しい音程で表現を工夫して歌い合わせる。 - 混声合唱の重厚な響きを生かしながら、互いの声や伴奏をよく聴いて歌う。 - 曲の作者のメッセージ性を理解して、深い合唱表現を工夫する。	- 西洋音楽史【知識】→定期考査 - 鑑賞のシート【思考・判断・表現】 - 歌唱シート【学習に向かう態度】
11	西洋音楽史 （鑑賞3） Let It Be	- ロマン派の音楽の特徴を理解する。 - 自由で美しい個人主義の音楽を感じ取る。 - 英語の語感を生かした旋律やリズムに注目しながら、表現を工夫して歌う。	- 能の鑑賞のワークシート【思考・判断・表現】 - 箏…運指・姿勢【知識・技能】、音・旋律線【思考・判断・表現】→実技テスト
12	西洋音楽史 （鑑賞4） 能「敦盛」 （鑑賞5）	- 国民楽派の国籍性のある音楽について学習し、国柄の表れを感得する。 - 能に親しみ、その音楽のよさや美しさを感じ取る。	
1	箏の学習 （創作）	- 奏法の学習、平調子を中心とした楽曲を演奏し、箏の音色を生かして合奏をする。 - 平調子の短い曲を創作する。	

2	西洋音楽史 ボレロ (鑑賞6)	・近代印象派の音楽を聴き、絵画的な特徴を感じ取る。 ・曲全体を通して繰り返されるリズムと2つの旋律に注目しながら聴く。	・鑑賞のシート【思考・判断・表現】 ・西洋音楽史【知識】→定期考査
3	旅立ちの日に ポピュラー音楽 音楽を楽しむためのルール	・中学生生活を振り返りながら、歌詞の内容に注目して、心を込めて合唱する。 ・ジャンルをつかみ、洋楽、邦楽を楽しみながら聴く。 ・著作権について理解し、これからの音楽活動を楽しむ。	・著作権について気付いたことの表記【思考・判断・表現】→ワークシート

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・実技テスト ・定期考査 ・授業内小テスト	・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート ・授業内小テスト	・定期考査 ・ワークシートへの記入内容 ・提出物の状況 ・音楽活動に取り組む態度（観察）
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

自己表現の一環として、音楽活動があることを理解してください。最上級生としての姿を、行事で見せることを期待します。授業にのぞむとき、次のことに注意してください。

- 1 いろいろな音楽の活動に、意欲的に取り組んでください。「めんどう」と思わずに、「とにかくやってみる」という気持ちでお願いします。
- 2 実技の方法、知識について、分からない、理解しづらいと感じたときは、質問をしてください。前進するためには、そこで立ち止まらない状態をつくることです。
- 3 授業で使用する物を常備しておきましょう。今までと同じように、音楽バッグに一式そろえて保管しておくといいです。バッグの中には、
 - ① 中学生の音楽2・3下
 - ② 音楽のおくりもの中学生器楽
 - ③ アルトリコーダー
 - ④ コーラスフレンズ
 - ⑤ A4版ファイル
 です。

授業が始まる前に、①～⑤がバッグに入っているかを確認してください。特に、プリント類は、提出を伴うことが多いので、紛失しないようにファイルにしっかり入れておきましょう。

第 3 学年 美術科 年間指導計画

担当	佐藤七海	教科 目標	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	
教科書 副教材、用具		教科書 資料集 用具	美術 1、美術 2・3（光村図書） 感じる 表す（浜島書店） クロッキー帳、アクリルガッシュ、鉛筆、篆刻セット	
月	題材名 教材名	題材のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	メッセージを伝える	○ポスターの制作を通してメッセージや情報が多くの人に伝わるように、絵や文字などの組み合わせを考え工夫したり、鑑賞を通して効果的にメッセージを伝える工夫を感じ取る。 ・ポスター制作 ・構成の学習	＜知識・技能＞ 情報が伝わりやすいように絵や文字の種類や構成を工夫して表現することができる。	
5			＜思考・判断・表現＞ 伝えたい情報がどうすれば伝わるか絵や文字の大きさや配置の工夫を考えたり、ポスターなどを鑑賞して表現の工夫を感じ取っている。	
6			＜主体的に取り組む態度＞ ポスターに込められたメッセージを読み取ったり、絵や文字の画面構成の工夫を考えたり、他者の作品の良さや工夫を感じ取ろうとしている。	
7				
9	今の自分、これからの自分	○今の自分や将来の自分をテーマに表現方法を工夫して自分自身を作品に表したり、自画像などの自分を表した作品を鑑賞し、作者の想いや表現の工夫を感じ取る。 ・自画像	＜知識・技能＞ 自分の見た目や内面を捉えて、描画材を選択し画面構成を工夫して表現することができる。	
10	＜思考・判断・表現＞ 自分の見た目や内面を捉えてテーマを設定し、自分に合った表現方法を考えたり、他者の作品を鑑賞し表現の工夫を感じ取っている。			
11	＜主体的に取り組む態度＞ 自分の見た目や内面から連想されるものを考えたり、他者の作品から作者の想いを感じ取ろうとしている。			
12	＜知識・技能＞ 篆刻について理解を深め、石の特徴や使用目的からデザインを考え、用具を選択して制作することができる。			
1	オリジナルマイはんこ	○自分らしさというテーマや使用目的から印面や持ち手のデザインを考えたり、石を使った作品を鑑賞することで石の良さや他者の作品の表現の工夫を感じ取る。 ・篆刻づくり	＜思考・判断・表現＞ 自分らしさというテーマからデザインを考えて、石の特徴をから表現の工夫を考えて制作している。	
2			＜主体的に取り組む態度＞ 自分らしさについて考えたり、より美しくするために制作の工夫を考えたり、他者の作品から良さや工夫を感じ取っている。	
3				

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 の 方 法	・ 作品 ・ ワークシート ・ 作業の様子 ・ 定期考査	・ 作品 ・ ワークシート ・ 作業の様子 ・ 定期考査	・ ワークシート ・ 提出物の状況 ・ 授業に取り組む態度 ・ 定期考査
比 率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

「知識・技能」

・ 中学校の美術では楽しく創作活動に取り組むだけではなく、美術的な知識や表現方法を学びます。そういった知識や技能が身についているかを定期考査や作業の様子、出来上がった作品から評価をします。定期考査も作品制作もどちらも一生懸命に取り組みましょう。

「思考・判断・表現」

・ 制作中の作品や、自分の考えを記入するワークシートの内容から、作品制作の中で自分なりの考えをもち、工夫をこらすことができているかを評価します。また、定期考査でも美術的な考え方が身についているか等を見取ります。

「主体的に学習に取り組む態度」

・ 毎時間授業の終わりに提出してもらおうワークシートや、授業中の制作に取り組む態度、知識や技能を身に付けるための取り組みを評価します。毎時間の積み重ねが大切になるので、おしゃべりせずなどせずに集中して取り組みましょう。

・ 分からないことがあれば、いつでも積極的に質問してください。ひとりでは難しい課題があればアドバイスを聞いたり、手助けを求めることも大切です。わからない・できないままという事がないようにしましょう。

・ 1・2年生で学んだことも生かして、さらなる自己表現に取り組んでいきましょう。

第3学年 保健体育科 年間指導計画

担当	小澤	教科 目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
教科書 副教材、用具		中学保健体育（学研） 図解中学体育（暁教育図書）	
月	単元名 教材名	単元のねらい 主な学習内容	主な評価項目
4	体づくり運動	・ 体ほぐしの運動	《知識・技能》 ・ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 (授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 ・ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・ 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
5	体育理論 文化としてのスポーツの意義	・ 文化としてのスポーツの意義	《知識・技能》 文化としてのスポーツの意義について理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) ※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	陸上競技 短距離走・リレー	・ 50、100m ・ バトンパス	《知識・技能》 技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。短距離走・リレーでは中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 (授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	バスケットボール	・ 安定したボール操作 ・ ボールを持たない動き ・ 簡易ゲーム	《知識・技能》 ・ 技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きなどによってゴール前の攻防ができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 ・ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・ 自主的に取り組むとともに、作戦などの話し合いに貢献しようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
5			

6 7 9 10 11	保健 健康な生活と疾病の予防	- 健康の成り立ち - 運動と健康 - 食生活と健康 - 休養、睡眠と健康	《知識・技能》 健康の成り立ち、運動と健康、食生活と健康、休養と睡眠と健康について、理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	水泳	- バタフライ - クロール	《知識・技能》 水泳の技能の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、自己の役割を果たそうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	保健 健康な生活と疾病の予防	- 生活習慣病とその予防 - がんとその予防 - 喫煙と健康 - 飲酒と健康 - 薬物乱用と健康 - 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防について、理解している(生活習慣病、飲酒、着杖、薬物乱用)。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	体づくり運動	実生活に生かす計画の工夫	《知識・技能》 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査)※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	球技 バレーボール	- ボール操作 - 役割に応じた動き - 連携した動き - 簡易ゲーム	《知識・技能》 ・技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。役割に応じたボールや安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・自主的に取り組むとともに、作戦などの話し合いに貢献しようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	陸上競技 走幅跳	- フォームチェック - 記録会	《知識・技能》 技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 走幅跳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)

1 2 1	陸上競技 長距離走	・ペース走 ・記録会	《知識・技能》 技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。自己に適したペースを維持して走ることができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 長距離走に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	保健 健康な生活と疾病の予防	・感染症とその予防 ・性感染症とその予防/エイズ ・健康を守る社会の取り組み ・医療機関の利用と医薬品の利用	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防(感染症・性感染症・社会取り組み・医療機関・医薬品)について、理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	ダンス 現代的なリズムのダンス	・リズムダンス（創作含む）	《知識・技能》 ダンスの特性や由来、表現の仕方などについて理解している。リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って表現している(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	体づくり運動	・体の動きを高める運動 - 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高めるための運動	《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようすることなどしたり、健康に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	球技「ベースボール型」 ソフトボール	・ボール操作 ・バット操作 ・走塁動作 ・簡易ゲーム	《知識・技能》 ソフトボールの技能の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えを他者に伝えている。《主体的に《学習に取り組む態度》 ソフトボールに自主的一人一人のプレイなど大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
3	体育理論	・国際的なスポーツ大会とその役割 ・人々を結び付けるスポーツ	《知識・技能》 文化としてのスポーツの意義について理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) ※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 文化としてのスポーツの意義について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)

保健 健康な生活と疾病の予防	・感染症とその予防 ・性感染症とその予防/エイズ ・健康を守る社会の取り組み ・医療機関の利用と医薬品の利用	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防(感染症・性感染症・社会取り組み・医療機関・医薬品)について、理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
保健 ・健康と環境	・環境の変化と適応能力 ・活動に適した環境 ・室内の空気の状態 ・水の役割と飲料水の確保	《知識・技能》 健康と環境(適応能力・至適範囲・飲料水や空気)について、理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 健康と環境(適応能力・至適範囲・飲料水や空気)について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康と環境(適応能力・至適範囲・飲料水や空気)についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
保健 健康と環境	・生活排水の処理 ・ごみの処理 ・環境の汚染と保全	《知識・技能》 健康と環境(生活排水・ごみ処理・環境)について、理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康と環境(生活排水・ごみ処理・環境)について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康と環境(生活排水・ごみ処理・環境)についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)

※種目の順番や内容は変更となることがあります。

教科における具体的な言語活動

- ・グループ学習を通して運動のポイントの教え合いを行い、個々の技術向上のきっかけとする。
- ・学習カードの利用で、自己の運動課題や到達度を言語化し、学習に見通しや計画性をもつ。

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
評価の方法	①定期テスト「知識」にかかわる範囲の得点。 ②学習カードの記述内容 ※①②より読み取れる知識を評価する。 ③技能の習得度 ※③を単元毎に設定し、評価をする。 ※具体的な実技課題や数値目標、評価の観点などは授業内で説明を行う。	①学習カードやノートの記述内容 ・課題設定（自己能力分析） ・課題解決（練習などの工夫） ・活動の記録 ・自己・相互評価 ・まとめ（考察） ②定期テスト「思考力、判断力、表現力等」にかかわる範囲の得点	① 学習カードやノートの記述内容 ・自らの学習状況の把握、進め方、調整 ・振り返り、感想 ② 粘り強い取り組み ③ 授業中の発言内容 ④ 健康・安全への取り組み （集合・整列・準備運動の状況等） ※上記の授業の取り組み方を主に観察・記録し評価する。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

知識及び技能

- ① 授業中の説明をよく聞くとともに、知識と技能を結びつけること。
- ② プリント学習では時間内に要点をまとめる力をつける。
- ③ 自分の能力を最大限発揮できるように、練習を行う。
- ④ 難しい種目や技能に対しても、自己の課題を設定し、その目標にむけて積極的に取り組む。

思考力、判断力、表現力等

- ① 自己の活動について、丁寧な振り返りを行うとともに書く力をつける。
- ② 課題に対して、仲間同士でアドバイスを積極的に行う。
- ② 課題解決にむけて、工夫した活動を行う。

学びに向かう力、人間性等

- ① 課題に対し積極的に取り組むことができる。
- ② 遅刻・見学・欠席・忘れものをしないで積極的に参加する。
- ③ 健康・安全に配慮して活動する。
- ④ 運動にふさわしい服装、身だしなみで参加する。
- ⑤ 準備運動の動きや声出しをしっかりと行う。

※詳細は授業中に説明があります。

第3学年 技術・家庭科 技術分野 年間指導計画

担当	高橋 徹	教科 目標	(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
教科書 副教材、用具		新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology (東京書籍)	
月	題材名 教材名	題材のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	デジタル作品 の特徴	○情報の技術 ・デジタル作品の特徴 ・デジタル作品を構成する 表現手段の特徴	<知識・技能> 生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、保守点検の必要性及び、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切な製作、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。(定期考査、ワークシート、作品) <思考・判断・表現> 生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート、作品) <主体的に学習に取り組む態度> 安全な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)
5	エネルギー変換 ・オーロラキュー ト製作	○電気機器の保守点検	
6			
7	情報の技術 フローチャート によるプログラ ミング	○情報の技術 ・プログラムによる計測・制御 ・双方向性のあるコンテンツ	<知識・技能> 生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。(定期考査、ワークシート、作品) <思考・判断・表現> 生活上の問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツのプログラムの設計・制作などの課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指
9			
10			
11			
12			

1			して情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。 (定期考査、ワークシート、作品)
2			＜主体的に学習に取り組む態度＞ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)
3			

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	定期考査 ワークシート 作品	定期考査 ワークシート 振り返りシート 作品	ワークシート 振り返りシート
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

作品製作では、まず基本をしっかり理解して図面通りにつくりましょう。知識・理解の習得が表れます。その後に問題を発見し、課題解決を行います。思考・判断・表現の活用が表れます。ワークシートの記入内容や振り返りシートの感想欄もしっかり記入しましょう。技術の学習に関する態度が表れます。

2週に1回しか授業がありません。授業で学んだことをその日のうちに復習して、次回の授業まで忘れないようにしましょう。

第3学年 技術・家庭科 家庭分野 年間指導計画

担当	齋藤しのぶ	教科 目標	(1)家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3)自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
教科書 副教材、用具		技術・家庭 家庭分野 ―自立と共生を目指して― (東京書籍) ワークノート 消費生活・環境 (地域教材社) マイクロファイバークリーナー (スタイリッシュ)	
月	単元(題材)名 教材名	単元(題材)のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4 5 6 7 9	C消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と自立 4 持続可能な社会	- 消費生活のしくみ 収支と支出 - いろいろな購入計画 売買契約 - いろいろな支払い方法 - なくなる消費者被害 - 消費者を支えるもの - 消費者の権利と責任 - マイクロファイバークリーナーの製作(環境) - 消費行動が社会に与える影響 - 消費行動が環境に与える影響 - 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	<知識・技能> 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 売買契約のしくみ、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。(定期考査、ワークシート) <思考・判断・表現> 物資・サービスの購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <主体的に取り組む態度> よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(ワークシート)
10 11	B衣食住の生活(住生活) 1 住まいの働きと心地よさ 2 安全な住まいで安全な暮らし	- 住まいのはたらき - 住まいの空間	<知識・技能> 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。(定期考査、ワークシート)

12	3 持続可能な住生活	・家庭内事故への備え ・災害への備え ・持続可能な住生活をめざして	＜思考・判断・表現＞ 家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(ワークシート)
1	A 家族・家庭生活	・子どもの成長と地域	＜知識・技能＞ 家族のお互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。(定期考査、ワークシート)
4	家族・家庭や地域との関わり	・家庭生活と地域での活動 ・多様な人々が暮らす地域 ・地域に暮らす高齢者	＜思考・判断・表現＞ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察した事を論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践をしようとしている。(ワークシート)
2			
3	学習のまとめ		

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・授業の取り組みの様子 ・ワークシート、プリントの記入状況 ・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業の取り組みの様子 ・ノート、ワークシートの記入状況 ・定期考査 ・小テスト	・授業の取り組みの様子 ・ノートの記入状況 ・ワークシートの記入状況
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- 1 授業中の取り組み方、実習では安全に積極的に参加しているかどうかを見ます。
- 2 完成した時の評価だけでなく、過程を評価します。毎時間の課題を達成できるようにしましょう。そして課題の提出日を守りましょう。
- 3 実技教科では分かっているだけでは半分です。学習したことを生活に取り入れて、よりよい生活を目指してください。
- 4 年間3回実施される定期考査だけで評価をするのではなく、毎時間の授業に取り組む姿勢、ワークシートやノートの記入状況、提出物などを含め、総合的に評価します。

第3学年 英語科 年間指導計画

担当	宮崎・大槻	教科目標	外国語におけるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図る。	
教科書 副教材、用具		NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 (三省堂)		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4月 5月	Lesson 1 Stand by Me	現在完了進行形を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。また、それらを話したり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 現在完了進行形の肯定文、疑問文、否定文を理解し、それらを活用して、ずっと続けている習い事や部活動、ずっと大切に使い続けているものについて、話したり、書いたりする技能を身につけている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 アメリカの音楽雑誌の記事を要約するために、2つの曲（“Stand by Me”と“True Colors”）について書かれた記事を読んで、概要を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカの音楽雑誌の記事を要約するために、2つの曲（“Stand by Me”と“True Colors”）について書かれた記事を読んで、概要を捉えようとしている。(授業観察・振り返りシート)	
6月	Lesson 2 Languages in India	受け身形(byの文)の肯定文、疑問文、否定文を理解し、インドの言語や文化についての英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。また受け身形を含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 受け身形 (by の文) の肯定文、疑問文、否定文を理解し、それらを活用して、日常的に使われているものについて書かれた英文を聞いたり読んだりする技能を身につけている。また、好きな本や歌について自分の考えについて即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能を身につけている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 インドで使われている一部の言語の特徴をまとめるために、ヒンディー語とウルドゥー語と英語について書かれたコラムを読んで、概要を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト)	

			【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)
7 月	Lesson 3 The Story of Sadako	後置修飾（動詞の-ing 形）（過去分詞）を理解し、佐々木禎子さんについて書かれた物語を聞いたり読んで、概要を捉える。また後置修飾（動詞の-ing 形）（過去分詞）を含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 後置修飾（動詞の-ing 形）（過去分詞）を理解し、理解し、それらを活用して、建物や人物について書かれた英文を聞いたり読んだりする技能を身につけている。また、与えられたテーマについて、生産国や用途などを即興で考えて話したり書いたりする技能を身につけている。 (定期テスト・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 物語の流れを時系列に沿ってまとめるために、佐々木禎子さんについて書かれた物語を読んで、概要を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)
9 月	Lesson 4 The World's Manga and Anime	関係代名詞 that, which (主格)、who, that (主格)を理解し、世界に広がった漫画やアニメについて書かれた英文を聞いたり読んだりして、概要を捉える。また、関係代名詞 that, which (主格)、who, that (主格)を含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 関係代名詞 that, which (主格)、who, that (主格)を理解し、それらを活用してものの特徴や有名人などについて書かれた英文を聞いたり読んだりする技能を身につけている。また、ものの特徴や職業などについて話したり書いたりする技能を身につけている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 日本の漫画やアニメの海外進出について書かれた記事を読んで、概要を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自

			覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)
10月	Lesson 5 I Have a Dream	関係代名詞 that, which (目的格)、後置修飾 (名詞を修飾する文) を理解し、キング牧師について書かれた英文を聞いたり、読んだりして、概要を捉える。また、関係代名詞 that, which (目的格)、後置修飾 (名詞を修飾する文) を含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする	【知識・技能】 関係代名詞 that, which (目的格)、後置修飾 (名詞を修飾する文) を理解し、それらを活用しておすすめの場所や施設などについて書かれた英文を聞いたり読んだりする技能を身につけている。また、自分の考えや気持ちを即興で話したり書いたりする技能を身につけている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 物語の流れを時系列に沿ってまとめるために、キング牧師について書かれた物語を読んで、概要を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)
11月 12月	Lesson6 Imagine to Act	仮定法過去 (if) ,仮定法過去 (I wish ...) を理解し陸の書いた空想について書かれたスピーチ原稿を聞いたり、読んだりして、概要を捉える。また、仮定法過去 (if) ,仮定法過去 (I wish ...) を含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 仮定法過去 (if) ,仮定法過去 (I wish ...) を理解し、それらを活用してタイムマシンがあったらしたいことや、将来の夢や実現したいことについて書かれた英文を聞いたり読んだりする技能を身につけている。また、自分なら何がしたいかなど、自分の考えを即興で話したり書いたりする技能を身につけている。 (定期テスト・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 スピーチを通して陸が伝えたいメッセージとその根拠や例をまとめるために、想像することの大切さについて書かれた原稿を読んで、要点を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)

1 月	Lesson 7 For Our Future	間接疑問,<help+A+動詞の原形>を理解し、外国語を使って仕事をする人たちについて書かれた記事を聞いたり、読んだりして、概要を捉える。また間接疑問,<help+A+動詞の原形>を含む英文を即興で伝えたり、正確に書いたりする	【知識・技能】 間接疑問,<help+A+動詞の原形>を理解し、それらを活用して外国語を使って仕事をする人たちについて書かれた英文を聞いたり読んだりする技能を身につけている。 また、中学生活で思い出に残ったできごとなどについて、事実や自分の気持ちを即興で話したり書いたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 記事から読み取ったことを文章にまとめるために、外国語を使って仕事をする人たちについて書かれた記事を読んで、要点を捉えている。(定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)
2 月	Get Plus 3 Reading for Fun 2	want + A + to ...の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。バイオメティクスについて書かれた記事を聞いたり、読んだりして概要を捉える。 3年間の総復習	【知識・技能】 want + A + to ...の意味や働きを理解し、それを活用し英文を読んだり聞いたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 記事から読み取ったことを文章にまとめるために、バイオメティクスについて書かれた記事を読んで、要約を捉えている。 (定期テスト・パフォーマンステスト) 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。(授業観察・振り返りシート)

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期考査 ・ パフォーマンステスト ・ 長期休業明けのテスト ・ 作品	・ 定期考査 ・ パフォーマンステスト ・ 長期休業明けのテスト ・ 作品	・ 定期考査における解答から、粘り強く答えようとしている様子进行评估する。 ・ パフォーマンステストの様子から、粘り強く活動に取り組む様子进行评估する。 ・ 授業観察（コミュニケーション活動に粘り強く取り組む態度进行评估する。） ・ 振り返りシート（自らの学習を振り返り、自己調整をしている様子进行评估する。）
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・ 授業：毎回の授業を大切に集中して臨みましょう。英語上達の近道は声に出して繰り返し音読することです。発音練習や言語活動では大きな声でハッキリと練習しましょう。自分から意欲的に授業に向かい、失敗を恐れずに発言する姿勢を大切にします。
- ・ 発表などの活動：英語を使って発表する際は、事前に配布される評価のポイントを意識して原稿を作成したり、練習を重ねましょう。
- ・ 課題：自分の力で頑張って仕上げましょう。答え合わせをして間違いがあればきちんと直しましょう。わからなかった問題はそのままにせず、解説などを参考に理解する努力をしましょう。
- ・ ノートやワークシート：ノートは板書をきちんと写しましょう。先生の話した内容を書き留めたり、英語の読み取り聞き取りを行う際のポイントを確認し、丁寧に自分だけのオリジナルノートを作りましょう。
- ・ 3年間の積み重ね：英語は積み重ねの教科です。入試で出題される問題の約7割は1、2年での学習内容だとも言われています。副教材で配布されたものや、これまでの教科書、ワーク、ノートを使って早い段階から復習を徹底してください。
粘り強く最後まで諦めない姿勢や集中力を切らさずに問題に向き合うことが必要とされます。

第3学年 道徳科 年間指導計画

担当	各担任	教科 目標	学校や郷土を愛し、人間尊重の心を育てる。感動できる心を大切にし、自分を高める努力をする生徒を育てる。	
教科書 副教材、用具		光村図書 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき 東京都道徳教育教材集 キラリノート		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	道徳の授業を始めよう！ 【B(7)礼儀】 礼儀正しさとは （「東京都道徳教育教材集」を活用） 【B(6)思いやり、感謝】 背番号 10	・道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせる。 ・礼儀正しい行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。 ・思いやりや感謝の念をもって他者に向き合おうとする実践意欲や態度を育てる。	年間を通して、以下の2点のから評価を行う ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか ・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか 評価材料 【授業観察・発言・道徳ノート】	
5	【C(10)遵法精神、公德心】 二通の手紙 【D(19)生命の尊さ】 あの日 生まれた命 【A(1)自主、自律、自由と責任】 三年目の「ごめんね」	・規則は何のためにあるのかを考えさせ、規則を守って行動しようとする判断力を育てる。 ・命の尊さについて考えさせ、自他の生命を尊ぶ心情を育む。 ・自分で考え誠実に行動するとはどういうことかについて考えさせ、誠実で責任ある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。		
6	【A(1)自主、自律、自由と責任】 深めたいむ 【C(11)公正、公平、社会正義】 小さな出来事 【C(13)勤労】 「リクエスト食」を支える 【D(21)感動、畏敬の念】 サグラダ・ファミリア ——受け継がれている	・いじめをなくすためにできることは何か、考えさせる。 ・誰に対しても公平に接するためにはどんな考え方が必要かを考えさせ、公正、公平な社会を築いていこうとする心情を育てる。 ・「働く」ことの意味について考えさせ、他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようとする心情を育てる。 ・人間の力を超えたものや時を超えてつながる思いを深く考えさせ、美しいものや気高いものを感じ取る心情を育む。		

7	く思い 【A(5)真理の探究, 創造】 鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究 【A(3)向上心, 個性の伸長】 がんばれ おまえ 【D(19)生命の尊さ】 ★紙芝居	・知的好奇心をもって真理を探究することのおもしろさと可能性について考えさせ, 積極的に学び, 工夫して新しいものを創造していこうとする実践意欲と態度を育てる。 ・「自分」について考えさせ, 自己を見つめ, 充実した生き方をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。 ・紙芝居サークル「原っぱ」の演じ手を講師に招き、生命尊重をテーマとした紙芝居を観賞する。	
9	【B(8)友情, 信頼】 私がピンク色のキャップをかぶるわけ 【B(9)相互理解, 寛容】 ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞 【D(19)生命の尊さ】 命の選択 (「東京都道徳教育教材集」を活用) 【C(12)社会参画, 公共の精神】 一票を投じることの意味	・友達存在について考えさせ, 深い友情や信頼関係を築いていこうとする心情を育てる。 ・違う個性があることによって生まれてくる豊かさやおもしろさについて考え, 人間が相互に個性や立場を尊重し合いながらよりよく共生していこうとする実践意欲と態度を育てる。 ・命について多面的・多角的に考えさせ, 生命を尊ぶ心情を育てる。 ・よりよい社会を実現するために大切なことについて考えさせ, 社会や公共の問題に目を向け, 参画していくための判断力を育てる。	
10	【C(10)遵法精神, 公德心】 闇の中の炎 【C(10)遵法精神, 公德心】 深めたいむ 【C(11)公正, 公平, 社会正義】 ぼくの物語 あなたの物語 【C(11)公正, 公平, 社会正義】	・法やきまりを守ろうとする心について考えさせ, 規則を守って行動しようとする実践意欲と態度を育てる。 ・携帯電話やスマートフォンなどを使って情報を発信するときに, 必要な心構えを考える。 ・差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考えさせ, 公正, 公平で, 社会正義に基づいた行動を取っていこうとする判断力を育てる。 ・「あってはならない違い」をなくすために大切な考え方について, 考える。	

1 1	深めたいむ 【A(4)希望と勇気, 克己と強い意志】 私の再出発 【D(22)よりよく生きる喜び】 足袋の季節 【C(17)我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】 障子あかり 【C(14)家族愛, 家庭生活の充実】 家族って? 家庭って?	・目標をもって学び, 困難を乗り越えて, 自分を高める喜びを実感して生きていこうとする実践意欲と態度を育む。 ・自分の弱さや醜さを見つめてそれを乗り越えることの大切さについて考えさせ, 誠実に生きようとする心情を育てる。 ・日本の文化を知り, 継承していくことの大切さについて考えさせ, 伝統と文化を尊重していこうとする実践意欲と態度を育てる。 ・家庭での自分の役割についての考えを深め, 家族の一員としての自覚をもって, より充実した家庭生活を築こうとする心情を養う。	
1 2	【D(20)自然愛護】 海とストロー 【C(16)郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】 好いとっちゃん, 博多 東京都道徳資料郷土資料集活用 【C(18)国際理解, 国際貢献】 希望の義足	・人間と自然との関わりについて考えを深め, 進んで自然環境を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。 ・郷土と自分との関わりについて考えさせ, 郷土に対する認識を深め, 郷土を愛し, その発展に努めようとする心情を育てる。 ・世界で日本人として行動するのに大切なことは何かを考えさせ, 国際理解や国際貢献に努めようとする実践意欲や態度を育てる。	
1	【A(4)希望と勇気, 克己と強い意志】 『落葉』——菱田春草 【A(2)節度, 節制】 小さいこと (「東京都道徳教育教材集」を活用) 【B(9)相互理解, 寛容】 恩讐の彼方に	・信念や意志について考えさせ, 逆境にあっても希望や強い意志をもって生きていこうとする心情を育てる。 ・自らの生活を振り返り, 小さなことを継続していくことの尊さについて考えさせ, よい生活習慣を続けていこうとする実践意欲と態度を育てる。 ・「寛容の心」について考えさせ, 他者の立場や考え方を尊重し, 理解し合おうとする心情を育てる。 ・人間には, 弱さや醜さを克服し気高	

2	【D(22)よりよく生きる喜び】 恩讐の彼方に 【C(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】 巣立ちの歌が聞こえる 【A(3)向上心, 個性の伸長】 先人の言葉 ——「論語」	く生きようとする心があることを理解し, よりよく生きることに喜びを見いだそうとする心情を育てる。 ・よい校風を作り, 継承していくために大切なことは何かを考えさせ, 学校生活や集団生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。 ・自分を見つめ, 輝かせることについて具体的に考えさせ, 向上心をもって, 充実した生き方をしようとする心情を育てる。	
3	【D(19)生命の尊さ】 命と向き合う 道徳の学びを振り返る	・生命の尊さについて考えさせ, 生命を尊ぶ心情を育てる。 ・1年間の道徳で学んだことを振り返り, これからの自分の生き方について考えを深め, 学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	

学習のアドバイス

道徳の時間では、よりよい生き方について考えていきます。

①教材を通して道徳的な問題を見つけ、②その問題について考えを深め、③深めた考えを自分の生活で生かしていけるようにします。他者との対話、自分との対話を通して、考えを深めていきましょう。その中で、多様な感じ方や考え方、ものの見方を身につけていきましょう。

令和4年度 第3学年 総合的な学習の時間 年間活動計画 小平市立小平第五中学校

月 (時数)	活動内容 (時数)	関連する教育活動	評価規準
4月 (3)	オリエンテーション (1時間) ・ 今年度の学習内容		
5月 (4)	生き方に関する学習 (8時間) ① 卒業後の進路決定に向けた計画 ② 個人目標の設定	・ 道徳 ・ 特別活動	・ 2年間の学習を振り返り、自分の生き方を見つめることができたか。
6月 (2)	③ 理想の生き方と卒業後の進路を考える ④ 高校の先生の話聞く会		・ 進路決定に向けて必要な情報を収集し、理想の実現に向けて計画を立てられたか。
6月 (4)	修学旅行 (22時間) ① 行動計画作成	・ 社会 ・ 道徳	・ 学習への興味、関心をもち、意欲的に取り組めたか。
7月 (5)	② 集団生活や公衆道徳の向上に関する学習 (係活動、決まり・マナーの確認等)		・ 集団の中での行動のしかたを考えることができたか。
9月 (13)	③ 現地での学習 ④ まとめ (個人で記録の作成・展示)	・ 国語、社会 ・ 国語、社会	・ 目標に合わせ、自己の成長をはかることができたか。
10月 (2)	生き方に関する学習 (17時間) ⑤ 卒業後の進路決定に向けた計画 ⑥ 個人目標の設定	・ 道徳 ・ 特別活動	・ 進路決定に向けて必要な情報を収集し、理想の実現に向けて計画を立てられたか。
11月 (4)	⑦ 理想の生き方と卒業後の進路を考える ⑧ 進路カレンダー (個人) の作成		・ 理想の実現に向けて、面接や集団討論などの準備ができたか。
12月 (4)	⑨ 上級学校訪問レポートの作成・発表 ⑩ 受験制度・合否決定などの情報収集		
1月 (4)	⑪ 面接試験の準備 ⑫ 集団討論練習		
2月 (3)			
3月 (22)	3年間の学習のまとめ (19時間) ① 3年間の学習の振り返り ② 自己の学習課題の振り返り ③ 卒業期に向けた学習のまとめ (各教科・特別活動・道徳教育・講演会等と関連させた学習活動) ④ 今後の課題と今後の生き方を考える 命を考える (3時間) ① 性について考える (デートDVについて考える) ② 講話を聞く ③ まとめ、お礼状の作成	・ 各教科 ・ 講演会等 ・ 道徳 ・ 特別活動	・ 3年間の体験・学習内容を振り返り、自己の成長と今後の課題を捉えることができたか。 ・ 卒業後も目標をもって前向きに生活しようという意識をもち、卒業に向けて学習をまとめることができたか。 ・ 他者理解を深められたか。 ・ 学んだことを振り返り、思いやりをもって他者に接する心を養うことができたか。
合計 70 時間			

第3学年 特別活動年間指導計画

担当	学年 教員	教科 目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さを発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。		
月	学校行事	生徒会活動	学級活動		
			学級・学校での 生活づくり	学校生活への適 応、成長と健康 安全	キャリア形成と 自己実現
4月	始業式 入学式 離任式	生徒会・委員会の 組織・計画づくり 生徒会オリエン テーション	学級目標・係活動	最上級生として の心構え 連休の過ごし方	生徒会活動への 参加 生徒会議案書討 議
5月	身体計測 運動会	生徒総会 運動会への取り 組み	学級生活の改善 と向上 1学期の反省	運動会への取り 組み 効果的な学習方 法	受験に向けて 高校の先生の話 を聞く 先輩の進路と私 の進路
6月				夏休みの過 ごし方 修学旅行の意義 と目的	
7月	終業式 大掃除	選挙管理委員会 1学期の反省	夏休みの反省 2学期の学級生活	地震と安全 修学旅行への取 り組み	男女相互の理解 と協力
9月	始業式 修学旅行	立会演説会 生徒会役員選挙	学級目標の振り 返り	修学旅行の反省 合唱コンクール への取り組み	
10月	合唱コンク ール	合唱コンクール への取り組み	家庭学習のあり 方		進路希望の決定 受験への心構え・ 面接
11月	薬物乱用防止 教室		2学期の反省	冬休みの生活	
12月	終業式	2学期の反省 都生徒会長サミ ット	学級目標の振り 返り	冬の健康 食生活の見直し、 望ましい食習慣 受験期と健康	新年の抱負 新しい生活への 希望
1月	始業式 校外学習	中学校体験入学 卒業式準備	奉仕・美化活動の 意義と目的	展示発表会の意 義と目的	
2月			学級生活 の反省		3年間の自己の 歩み 学校生活を振り 返って 卒業に向けて・門 出にあたって 下級生への言葉
3月	展示発表会 奉仕・美化活動 卒業式 終了式 ※毎月、全校朝 礼を行う ※9月に防災訓 練、他の月は避 難訓練を行う	3学期・本年度の 反省 ボランティア活 動のまとめ 新年度に向けて ※毎月、専門委員 会・中央委員会・ 生徒朝礼・あいさ つデーを行う。			

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要になることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報および方法を理解している。 ・よりよい生活を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。	・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	・生活や社会、人間関係をよりよく構築するために自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・積極的に話し合いに参加してみよう。
- ・自分の考えをみんなに話してみよう。
- ・他の人の意見をしっかり聞きましょう。
- ・自分をしっかり見つめていこう。